

2024年5月27日
経済産業省

1. 博覧会協会の管理体制等

(1) CFOの設置

本年3月13日開催の理事会にて博覧会協会内にCFO（最高財務責任者）を設置することが承認されたことを受け、本年4月22日付けで公益社団法人2025年日本国際博覧会協会会計規程を改正。4月22日付で、小野平八郎副事務総長がCFOに就任。

(2) 専門家の活用

外部の知見の活用に関して、会場建設費において契約変更の案件において必要と判断した案件については、従来より実施はしていたコストマネジメント事業者の評価結果を経済産業省との執行協議の中で報告することとした。運営費においても外部知見や経験者の意見を活用した取組を開始。

(3) 会場建設費の執行状況の報告（概ね2週間毎）

第2回委員会における議論を踏まえ、コスト推移管理表の概要（資料4参照）のとおり、会場建設費の執行状況に関して博覧会協会から報告の契約実績をもとに経済産業省で概ね2週間毎に整理を開始。

2. 運営費の執行管理の強化

(1) 運営費執行管理会議の設置

博覧会協会の役員が出席し、協会事務局より、執行状況（チケットの販売状況、支出金額とその内容、支出抑制策）を説明。本年3月5日に第1回、5月9日に第2回を開催。会議の結果は経済産業省に報告。

3. 会場建設費の執行管理の強化

(1) 会場建設工事の進捗の報告

会場全体工事の工程表を公表。

(2) コスト抑制の取組

小催事場の価格決定における一括発注への変更の事例について博覧会協会内において共有。会場内トイレ施設についてコストを抑制する形で再発注を実施。会場内トイレ施設については市場価格（一般公衆トイレ）との検証を実施・共有。

検討中の事項

1. 運営費の収入が予定どおりでない場合や予定外の支出が発生した場合の支出削減の計画

博覧会協会の第1回運営費執行管理会議においても同様の指摘があった。現在、博覧会協会において検討中。

＜参考：第2回委員会議事要旨＞

- 運営費の支出については、コンティンジェンシープランが必要。収入が2割減ったときに何を削るのか。警備か、光熱費か、など議論はしておく必要がある。運営費は差し迫った現実にお金を払うため無いから出せませんと言えないものが多い。例えば熱中症対策など人の健康に関わるものもある。平時のプランや手続については説明いただいたが、予定どおりではないことが起きたときにどうするか計画はあるのか。

＜参考：博覧会協会運営費執行管理会議第一回について（博覧会協会理事会資料（3月13日））抜粋＞

- 委員からのおもなご意見は以下のとおり

- ・計画通りにチケット販売が伸びなかった場合に何を削るのかをあらかじめ検討いただきたい。

2. チケットの販売方法

基本的な考え方として、チケット販売のチャネルは大きくわけて、①Webによる個人等への販売、②旅行会社等を通じた販売（旅行商品など）、③企業等への直接販売の3つであるところ、現在、博覧会協会において、販売強化策について検討中。

＜参考：第2回委員会議事要旨＞

- 運営費については、1970年大阪万博は右肩上がりの時期で黒字が出て収まったが、今はどうなるか分からない。上振れも下振れもあり得る。確実にチケットを売ることがリスクを抑え、赤字を出さないようにする執行管理として重要。チケットの売り方について説明を聞く必要がある。

3. 運営費の執行状況の報告